



ひの社会教育センターの  
なつやすみ  
活動報告

<2017 年度 夏期>



## 「2017夏の自然学校のまとめ」発行にあたり

「愉快的仲間、試練、感動、大きな喜び、そして、成長」

数年前のことでした。キャンプの見送りをしていた時です。バスで出発していく際、低学年のお子さんがバスに乗り込めず、大泣きをしながら“出かけたくない”。抱きかかえられてバスに乗って出かけて行きました。「あの子はどうしているのかなあ」と見送った後も気にかかっていた。二日後にまたバスに乗って帰ってきました。何事もなく笑顔で充実した顔つきでした。

スキー教室の3泊4日コース。初日の晩、夕食を食べている時に下を向いて背中が震えているような感じです。ホームシックのお子さんは時々見かけます。なぜか夕食時に多いものです。寂しく悲しそうに涙ぐんでいる姿は切なく見えますね。

子どもたちはキャンプにスキー、たくましく活動に没頭しています。今年の夏は雨が多くキャンプファイヤーができないコースもありました。しかし、カッパを着ながら走り回り、大人では冷たいと感じる川の中にも飛び込んで行きます。「寒くないの?」「大丈夫!」「うっわー!!すごい迫力!」「楽しそうだなあ」「涙のカレーライス」なんてこともあります。子どもたちは楽しい思い、少し寂しい思いを同じキャンプの仲間と活動しながら乗り越えていくのです。

リーダーもどんな時も一緒にそばにいて、子どもの声にずっと耳を傾け、目を見つめています。「心配だな」、「どんな言葉をかけようかな」、「安全にやれるかな」と気持ちを張りつめています。班の仲間の子もたちが、力を合わせ、目標を達成した時には「やったー!」思わず叫んでしまいます。

水、風、太陽、空気、そしてそこに愉快的仲間がいて、一生に一回の夏が過ぎて行きました。素敵な笑顔と汗も一緒に!

これからもひの社会教育センターは、人を大切に、楽しく愉快地に活動するみなさんとともにいつまでも歩んで行きます。そして、大人同士語り合えるような企画も欲しいですね! キャンプや自然について、子どもだけじゃない“大人企画”で楽しみましょう。いかがですか? 待ってま〜す!



ひの社会教育センター  
島崎成利(Shimax)



## 2017 シーズン ひの自然学校ラインナップ

日程	コース名(対象)	行先	宿泊形態	参加者数
①7/23(日) ②7/23(日)-24(月)	岩井 海の学校	千葉県岩井海岸	日帰り 民泊	①12名 ②7名
①7/25(火) ②7/28(金) ③8/29(火)	高尾シャワークライミング (小学4～6年生)	裏高尾「TAKAO シャワー」 (東京都八王子市)	日帰り	①11名 ②10名 ③11名
①7/26(水) ②8/5(土) ③8/30(水)	日帰りカヌー体験 (小学生)	みの石滝キャンプ場 (神奈川県相模原市)	日帰り	①28名 ②19名 ③30名
①8/1(火)-3(木) ②8/16(水)-18(金)	八ヶ岳満天の星キャンプ ①:アドバンス ②:エントリ- (小学生)	八ヶ岳少年自然の家 (山梨県北杜市)	施設泊	①40名 ②39名
8/8(火)-10(木)	川遊び河童っぱキャンプ (小学生～中学生)	白州観光キャンプ場 (山梨県北杜市)	低:バンガロー泊 高:テント泊	低:20名 高:17名
8/12(土)-14(月)	八ヶ岳登山キャンプ (小学5年生～高校生)	八ヶ岳 天狗岳	山小屋泊	7名
8/16(水)-20(日)	島☆冒険キャンプ (小学4年生～中学生)	式根島 (東京都伊豆諸島式根島)	民泊	21名
8/23(水)-24(日)	タフィーキャンプ (4～5歳児)	夕やけ小やけふれあいの里 (東京都八王子市)	常設テント泊	18名
①8/20(日)-21(月) ②8/22(火)-23(水) ③8/24(木)-25(金)	1泊キャンプ (年長児～小学4年生)	夕やけ小やけふれあいの里 (東京都八王子市)	常設テント泊	①20名 ②20名 ③18名



## 2017 シーズン チャレンジ教室ラインナップ

日程	コース名(対象)	場所	参加者数	備考
A:7/27(木)-8/1(火) B:8/27(日)-31(木) (5日間 15:00-17:00)	鉄ぼう・とび箱教室 (小学1～4年生)	ひの社会教育センター 3F 体育室	A:24名 B:24名	
A:7/29(土)-8/2(水) B:8/25(金)-29(火) (5日間 10:00-12:00)	トランポリン教室 (小学生～大人)	ひの社会教育センター 3F 体育室	A:16名 B:16名	
7/27(木) (13:30-15:30)	けん玉他レンジ (小学生～大人)	ひの社会教育センター	15名	
7/29(土) (17:00-18:30)	剣道チャレンジ (小学生～大人)	ひの社会教育センター 3F 体育室	12名	

## 岩井 海の学校 <日帰りコース>

【開催日】 2017年7月23日(日)

【場所】 千葉県岩井海岸

【参加人数】 12名

【ディレクター】 島崎成利

【アシスタントディレクター】 山内史絵

【プログラム】

1 日目	【ねらい】
6:00 集合	○海の生き物を見るだけでなく、採って食べる！醍醐味を味わう。
9:00 岩井海岸到着	○遊びに行く準備、荷物の片付け、などなんでも自分で頑張る。
磯遊び	○初めて会う仲間とも協力して活動する。(班活動)
昼食(枇杷カレー・ウニ)	
13:30 海水浴	
16:00 岩井海岸出発	
19:30 解散	

### 【プログラムの成果】

子ども水泳教室に参加している子どもたちに、泳ぐことだけでなく水の楽しみ、プールとは違った動きのある水の中で浮いたり泳いだり、海に住んでいる生き物や砂に触れて、海を満喫することができました。また、海は危険な場所であることも事前のオリエンテーションで学び、班行動することで安全に気をつけながら海を楽しむことができたと思います。

### 【同行リーダー(キャンプネーム)】

高橋祐二、橋本啓吾、小菅優希、山口木乃実

### 【キャンプの様子】

		
道具や危険箇所について確認。	ウニが潜んでいそうな所を漁師のおじさんに聞きながら探索…大漁！！	岩場なので気をつけながら行動。釣りをしているおじさんもいました。



## 【キャンプリーダーより、子どもたちのエピソード】

### ☆ウニに夢中

磯遊びの時は「ウニ」を探すのに夢中で、自分まで探すのが一生懸命になってしまいました。磯遊びが終わって、お昼ご飯を食べ、みんな寝るのかなと思いましたが、みんな元気に遊んでいました。海で泳ぐのを楽しみにしていたのか一目散に行動をはじめました。海で泳ぐのに小さい子供達には、早めにライフジャケットを着させるべきだったと思います。(このみ)

### ☆楽しい2日間

早朝のバスの中では、子どもたち皆が元気に話しかけてくれたので、緊張していた自分を忘れられるほど、皆とすぐ打ち解けられました。海でも子どもたちを浮き輪で引っ張るなど、子どもたちとずっと楽しめた2日間だと思いました。最終日の子どもたちの枇杷カレーを頬張る姿はとても可愛かったです。(啓吾)

## 岩井 海の学校 <1泊コース>

【開催日】 2017年7月23日(日)・24日(月)

【場所】 千葉県岩井海岸

【参加人数】 島崎成利

【ディレクター】 山内史絵

【プログラム】

1 日目	2 日目
6:00 集合	6:00 起床
9:00 岩井海岸到着	7:30 朝ごはん
磯遊び	9:00 海水浴
昼食(枇杷カレー・ウニ)	12:30 宿で昼食
13:30 海水浴	14:00 岩井海岸出発
17:30 夕食	17:30 解散
19:00 花火	
21:00 就寝	

### 【ねらい】

- 海の生き物を見るだけでなく、採って食べる！醍醐味を味わう。
- 遊びに行く準備、荷物の片付け、などなんでも自分で頑張る。
- 初めて会う仲間とも協力して活動する。(班活動)

### 【プログラムの成果】

子ども水泳教室に参加している子どもたちに、泳ぐことだけでなく水の楽しみ、プールとは違った動きのある水の中で浮いたり泳いだり、海に住んでいる生き物や砂に触れて、海を満喫することができました。また、海は危険な場所であることも事前のオリエンテーションで学び、班行動することで安全に気をつけながら海を楽しむことができたと思います。宿泊組は日帰り組とはちょっと違った団結力ができ、帰りのバスでも盛り上がっていました。

### 【同行リーダー(キャンプネーム)】

高橋祐二、橋本啓吾、小菅優希

### 【キャンプの様子】



たくさん遊んだからたくさん食べられそう！



漁師さんの民宿なので「舟盛り」も出ました。新鮮なお刺身を前に海鮮丼を作る子も…



朝の散歩。漁に行っていた船が魚をたくさんおせて漁港に入ってきたところでした。



## ひの社会教育センターは

### “Leave No Trace(LNT).Org”の公式パートナーです

「Leave No Trace (LNT)とは、自然の中で生活し、そして遊ぶ誰もが、少しずつ自然のことを考え行動することで自然環境を持続可能なものにしていこうという考え方と、その行動倫理を示しているものです。北米を中心に世界のいくつかの国で採択され、アメリカでは国立公園の入場券に記載されているなど広く認知されている国際基準のひとつです。



研究によって裏付けられた『7つの原理』は自然への負荷軽減（ミニマムインパクト）の考え方に沿っていて、正確でありながらシンプルな原則は、あらゆる場面、あらゆる人のシーンにおいて意識の中において行動することができます。

ひの社会教育センターは環境負荷を軽減し、人と自然の持続可能な関係を築いていくことに賛同しオフィシャルパートナーシップ登録をしました（2017年より。国内で4番目）。今後7原則を活用したプログラムへの取り組みを進めるとともに、LNTの考え方を広く推進していきたいと考えています。

#### 【LNT 7つの行動倫理とミニマムインパクトへの原則】

- ① 事前に計画と準備をしよう (Plan ahead and prepare)
- ② 影響の少ない場所での活動をこころがけよう  
(Travel and camp on durable surfaces)
- ③ ゴミや排泄物は適切に処理しよう (Dispose of waste properly)
- ④ 見たものはそのままにしておこう (Leave what you find)
- ⑤ たき火の影響は最小限にとどめよう (Minimize campfire impacts)
- ⑥ 野生動物を尊重しよう (Respect wildlife)
- ⑦ 他の利用者への配慮も心がけよう (Be considerate of other visitors)

## 1day outdoor シャワークライミング①<日帰り> 小学4年～6年

- 【開催日】 2017年 7月25日(火)  
 【場所】 裏高尾の沢「TAKAO シャワー」  
 【参加人数】 11名  
 【ディレクター】 寺田達也(キャンプネーム:まめた)  
 【アシスタントディレクター】 若泉将貴(キャンプネーム:わか)  
 【プログラム】

1 日目	【ねらい】
9:30 集合	○自然の中の水遊びを通して外遊びの楽しさを感じる。 ○仲間と協力して水流に立ち向かい、仲間と力を合わせる良さを感じる。 ○不安定な沢筋の歩行で安全意識を高める。
豊田～高尾	
シャワークライミング	
昼食	
沢遊び	
高尾～豊田	
解散	

### 【プログラムの成果】

子どもたち一人一人が事前の指導での「自分の身は自分で守る」ことを意識し、プログラムを進行することができた。川を遡上することで自然の偉大さだけでなく、自然との付き合い方を体感したようだった。集合時は静かだった参加者も、プログラムを得て絆が深まり一体感のあるキャンプとなった。

### 【同行リーダー(キャンプネーム)】

えっぴ、れいちえる、ウエンツ、なかちゃん、ソーダ

### 【キャンプの様子】



装備や危険箇所について確認。「自分の身は自分で守る」ことを意識させます。

所々、手を使わなければならない険しい場所も…。仲間と協力して登ります。

登るだけじゃない！途中にある橋で遊んだり、深いところで浮いてみたり…。



仲間と協力して無事に全員クライミング成功！疲れを見せず最後まで遊びました！！



ここに来たらやっぱり天然ウォータースライダー！あんな姿勢やこんな姿勢で滑ります！



たった一日だったけど、いつの間にかみんな仲良しに・・・



普段はあまり見かけない特大サイズのカエルさんがいます！

## 【キャンプリーダーより、子どもたちのエピソード】

### ☆同志に・・・。

朝はちょっとよそよそしい雰囲気。でも昼食後の川遊びでは、水切り、ダム作り、カニ探し…それぞれがやりたいことを、初めて会った友だちと共に思いっきり楽しむ。シャワークライミングというチャレンジングなものを通し、すっかり“同志”になっていました。(ウエンツ)

### ☆“初めて”を楽しむ

シャワークライミングでは、川の深いところに入ったり、岩を登ったり、天然のウォータースライダーがあったり、など「初めて」のことが盛りだくさん！でも子供たちはみんな尻込みせず、「これ楽しい！もっともっと！」と果敢に挑戦していく子ばかりでした。初めてのシャワークライミングに緊張して前日あまり寝れなかった私は子供たちに、「初めてを楽しむ。」という純粋な気持ちに気づかせてもらえました。(なかちゃん)

# 1day outdoor カヌー体験①<日帰り>

小学生

- 【開催日】 2017年7月26日(水)  
 【会場】 みの石滝キャンプ場(神奈川県相模原市)  
 【参加人数】 28名  
 【ディレクター】 寺田達也(キャンプネーム:まめた)  
 【プログラム】

1 日目	【ねらい】
9:30 集合	○水の上を自由に動けるカヌーの技術に挑戦し、新しい「できる」体験を積む。 ○安全意识をもちながら活動に臨み、野外における安全を感じることができるようにする。
豊田～相模湖	
相模湖カヌー体験	
昼食	
沢遊び・火遊び	
相模湖～豊田	
解散	

## 【プログラムの成果】

「初めてのカヌー」には湖は最適です。落ち着いた湖面とシットオンタイプのカヤックで安全性が実は非常に高いのが特徴。深い湖に最初はドキドキだった子どもたちも、インストラクターにパドルの使い方を教わり、おそろおそろ漕ぎ出してみるとすぐに笑顔。水を掛け合ったり、モーターボートで起こしてもらった波を楽しんだり、「水面を自由に漕ぎまわる感覚」を楽しめたようでした

## 【同行リーダー(キャンプネーム)】

きむにい、ぶいぶい、ウエンツ、あみちゃん、ソーダ

## 【キャンプの様子】



電車の中からウキウキワクワク♪  
船移動があるから楽しみ倍増!



着いたらまず、カヌーのこぎ方についてレクチャーを受けます。みんな真剣です…。



試行錯誤しながら、それぞれ上達していきます。周りにぶつからないように慎重に。





疲れ切った顔でハイチーズ！リーダーも子どもたちも遊びまくった一日でした。。。



リーダーと一緒に二人乗りカヌーで…。みんなと一緒に競争だ！！



水に濡れた後は火遊び！簡単なおやつ作りをします！



みんなでお昼ごはん～♪ 気づいたらみんな仲良しです。。。

## 【キャンプリーダーより、子どもたちのエピソード】

### ☆雨と涙のカヌー体験

エイジさん指導のもと、陸地でのパドルの練習は意外と簡単！...だったはずが、水上ではなかなか思うように動かせないカヌーに大苦戦。陸地に何度も激突してリーダーに引っ張ってもらったり、エイジさんに助けてもらったりで悔し涙を流すことも。でもめげずに頑張ったら、思い通りに動かせようになって、水の掛け合いも白熱しました！中には、カヌーが半身浴状態の子も(笑)

初めてのカヌー体験！なのに、雨でできるの？と不安に感じた子もいたはず。だけど結局みんなびしょ濡れになったし、何より最高に楽しかったから関係なし☆(きむにい)

### ☆ベテランの貫禄

ひとしきりカヌーに乗る練習をした後は、リレーをしたり波に乗ってきゃーきゃー大騒ぎしたりと、くたくたになるまで思いっきり遊びました。

さて、ひとしきり遊んだ後ふと見てみると…

キャンプには初めてカヌーを体験する子も、何度も来てくれているベテランの子もいます。そこはさすがにベテランさん。ゆらゆら不安定なカヌーをベットにして寝そべるという余裕をみせてくれていました。しかもその寝そべっている顔がなんと気持ちよさそう。ベテランの貫禄を感じた瞬間でした！（ぶいぶい）

## 1day outdoor シャワークライミング②<日帰り> 小学4年～6年

- 【開催日】 2017年7月28日(金)  
 【会場】 裏高尾の沢「TAKAO シャワー」  
 【参加人数】 10名  
 【ディレクター】 寺田達也(キャンプネーム:まめた)  
 【アシスタントディレクター】 若泉将貴(キャンプネーム:わか)  
 【プログラム】

1 日目	【ねらい】
9:30 集合	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自然の中の水遊びを通して外遊びの楽しさを感じる。</li> <li>○仲間と協力して水流に立ち向かい、仲間と力を合わせる良さを感じる。</li> <li>○不安定な沢筋の歩行で安全意識を高める。</li> </ul>
豊田～高尾	
シャワークライミング	
昼食	
沢遊び	
高尾～豊田	
解散	

### 【プログラムの成果】

事前の指導では、服装・装備のことや危険箇所・生物のことなどに触れて、参加者自身の安全意識を高めてプログラムを運営することができた。自分だけが気を付けるのではなく、他のメンバーにも注意を促すような声掛けを子どもたち同士で行う様子も見られた。

### 【同行リーダー(キャンプネーム)】

すず、えっぴ、ふいふい、おおくん

### 【キャンプの様子】



準備運動をしていざ入水！！  
 厚着をしている意味に気付かされます。



沢がにやカエルなどにも出会えます！  
 水の流れを体で感じられるところも。



段差が大きいところや、流れの強いところ、  
 滑るところは手を使って慎重に登ります。





みんなで登り切った達成感は最高！！  
協力し合って無事に歩き切りました！



たった一日のプログラムとは思えないほど仲良くなったメンバーたち。また会おう！



午後の時間は自由時間。水遊び、まったりトーク、野球などなど。



会ったことのない友達とも、いつの間にか意気投合。

## 【キャンプリーダーより、子どもたちのエピソード】

### ☆高尾の麓でシャワークライミング！

沢の水はとっても冷たいけれど、それをも吹き飛ばすみんなの元気で最高の思い出になりました。天然のウォータースライダーでは、みんなの度胸にびっくり。自由時間にやった野球も、子供対大人でとっても白熱した試合になったね。リーダーに勝てる日はいつか来るのかな？？やっぱりセンターの活動はどれも楽しいね！（おおくん）

### ☆最高の川遊び

緑でいっぱい道を抜けて、さらさら流れる到着！水の冷たさにびっくりして中々先に進めずにいる私の横で、バシャバシャと元気に泳ぎ出すみんなにまたびっくり！川の中には見たことのない生き物がいたり、天然滑り台があったり、たくさんの新しい発見と水しぶきでみんなの顔はキラキラ輝いていました！着替えた後も、平じゃない原っぱで野球をしたり、河原で石を積んだり、カニ探しをしたり、全部が最高の思い出！また来年も待ってろよ！川！（すず）

# 八ヶ岳 満天の星キャンプ①アドバンス<2泊3日> 小学生

- 【開催日】 2017年8月1日(火)～3日(木)  
 【会場】 山梨県立八ヶ岳少年自然の家(山梨県北杜市清里高原)  
 【参加人数】 40名  
 【ディレクター】 寺田達也(キャンプネーム:まめた)  
 【アシスタントディレクター】 若泉将貴(キャンプネーム:わか)  
 【プログラム】

1日目	2日目	3日目
7:30 集合出発	7:30 朝食	7:30 朝食
入所の集い・昼食	原っぱ遊び	原っぱ遊び
13:00 冒険ハイク	昼食・キャンプ場へ移動	11:00 プラネタリウム
16:30 入浴	15:00 野外炊事	12:00 昼食
18:00 夕食	17:00 夕食	現地出発
19:00 夜のレクリエーション	19:00 キャンプファイヤー	
就寝	入浴・就寝	

【ねらい】
○グループワークを通じて、「みんなで遊ぶ楽しさ」を感じる。
○荷物整理を中心に、「自分のことは自分でやる」に挑戦する。
○広大な敷地をめいっぱい使って思いっきり体を動かす。

## 【プログラムの成果】

満天の星キャンプでは初の施設泊からテント泊に移行するプログラム。通常のプログラムよりも仲間と協力する場面が多く、班の絆がより深まっていた。参加者には「アドバンス」を意識してもらい、少し難しいことにも挑戦することで、自信をつけた様子だった。

## 【同行リーダー(キャンプネーム)】

あにー、ぴちこ、あつくん、いなり、きき、えるも、まーち、もっちー、きっぴ、まーぼ、うっちよ

## 【キャンプの様子】



今日初めて会った友達とも、バスの中のレクですぐに仲良くなります！



冒険ハイクには仲間と協力しなければいけないところも。より絆を深めます。



班で協力してカレーを作ります。ガスの無い野外では火起こしからスタート。





最後まで「アドバンス」を貫いた満天メンバーたち。3日間でたくましくなりました！



原っぱ遊びでは、ボール遊び、斜面すべり、ハンモックなど様々。今回は特設ジップラインも。



リーダーも子どもたちも常に全力！みんなで「おーい！！」



雨の中、ブルーシートの下でやるキャンプファイヤーもまた思い出。

## 【キャンプリーダーより、子どもたちのエピソード】

### ☆たくさんの思い出

満天キャンプ初めてのテント泊！大きな荷物を何度も出し入れして、運ぶこと頑張りました！大きな原っぱでたくさん、走り回りました！冒険ハイクで、やったテーブルサーキット。どうしてもやりたくて、原っぱにみんなで作っちゃったね！雨の中小さなビニールテントつくって、みんなでキャンプファイヤーしたこと、とっても楽しかったです！色んなカレーは、班の味が出ていました！最後、くたくたになってセンターに戻ってきた時みんなの頑張りを感しました！（きっぴ）

### ☆アドバンスキャンプ

今回は「なんてたってアドバンスなんだから～」を合言葉にみんなで2泊3日過ごしました！原っぱ遊びではうっちゃとまめたが手作りのケーブルサーキットを作ってくれて、「すげー！」「今日もケーブルサーキットで遊べるの！？」と大喜び。他にもロープで作ったブランコ、ハンモックと、普段は体験できない外遊びができて大興奮の子どもたちでした！初めてのテントは、森の中で電気もなくてドキドキしたけど、班のみんなで川の字になって寝るのもいいな～と感じました。（まーぼ）

# 1day outdoor カヌー体験②<日帰り>

小学生

- 【開催日】 2017年8月5日(土)  
 【会場】 みの石滝キャンプ場(神奈川県相模原市)  
 【参加人数】 19名  
 【ディレクター】 寺田達也(キャンプネーム:まめた)  
 【アシスタントディレクター】 若泉将貴(キャンプネーム:わか)  
 【プログラム】

1 日目	【ねらい】
9:30 集合	○水の上を自由に動けるカヌーの技術に挑戦し、新しい「できる」体験を積む。 ○安全意识をもちながら活動に臨み、野外における安全を感じることができるようにする。
豊田～相模湖	
相模湖カヌー体験	
昼食	
沢遊び・火遊び	
相模湖～豊田	
解散	

## 【プログラムの成果】

ほとんどの参加者がカヤック初挑戦だったが、水上でのバランスのとり方、パドルの操作など自分たちで試行錯誤しながら慣れていくことができた。終盤には、子どもたちとリーダーで湖上に大きな円をつくることのできるまでに上達することができた。

## 【同行リーダー(キャンプネーム)】

かめちゃん、うっちよ、ゼロ、まーぼ、じよにー、ぶいぶい

## 【キャンプの様子】



集合時、ちょっと緊張した面持ち…。  
乗り方、漕ぎ方すべて教えてくれます！



最初はカヌーが怖いお友だちも、リーダーと一緒に乗れるので安心！



転覆しながらも、少しずつ上達していきます。縦横無尽に漕げると気持ちいい！！





カヌーだけじゃない！登山、火遊び、水遊び… リーダーも子どもたちもいい顔です！



一日に詰まったたくさんのプログラム。帰りにはずかっり仲良しになってます！



慣れてくるとこんなことも。みんなで寄せ集まって円を作りました！



カヌー後の自由時間…。最後の最後まで遊びつきます。

## 【キャンプリーダーより、子どもたちのエピソード】

### ☆みんなで力を合わせたカヌー

初めてカヌーをする子がたくさんいる中で、みんな真剣な表情でえいじさんのお話を聞き、ドキドキしながらカヌーに乗りました。いざカヌーに乗ってみると、みんなすぐに上手になって、後ろ向きに漕いだり、自由自在に曲がったり、リーダーに水をかけたり…たくさんカヌーを楽しみました！後半はみんなで力を合わせてカヌーを上手に操作しながら湖の中央に集まって、ひの社会教育センターの日帰りカヌーとしては初！みんなで湖の上にカヌーで大きな輪を作りました！輪が出来た時の達成感といったらもう感動！！とっても充実した1日となりました。(うっちょ)

### ☆カヌー後の登山

カヌー後、お昼ご飯を食べた後は自由時間になる。そんな自由時間は、火遊びチーム、水遊びチーム、そして山探検チームに分かれて遊ぶことになった。わかには山探検チームに参加。ルートはお散歩程度に回れる探索コースとがつつり登れる頂上コースの二つ。カヌーで疲れてるから探索コースかなあ〜と、みんなにどっちがいいか聞いてみると…。声をそろえて「頂上コース！！」

登り終えた後も、水遊び・火遊びに参加しているみんなの姿を見て脱帽です…。(わか)

# 川あそび河童っぱキャンプ<2泊3日> 小学生～中学生

- 【開催日】 2017年8月8日(火)～10日(木)  
 【会場】 白州観光キャンプ場(山梨県北杜市)  
 【参加人数】 38名(低学年:20名 高学年:18名)  
 【ディレクター】 阿部和弘(あべべ) 小澤まどか(おざ) 中能孝則(よんた)  
 【アシスタントディレクター】 若泉将貴(キャンプネーム:わか)  
 【プログラム】

1日目	2日目	3日目	【ねらい】
10:00 集合出発	起床・朝食	起床・朝食	○澄み切った川を全身を使って遊び、自然の中で遊ぶ楽しさを感じる。 ○何も無い空間にキャンプの居住区をつくり、仲間と居かして生活をつくりだす。 ○水を大切に使い、環境の配慮への気づきの機会とする。
現地到着	川遊び	川遊び・フリータイム	
昼食	昼食	昼食	
場内探検・会場設営	フリータイム	荷物整理・撤収	
野外炊事・夕食	野外炊事	現地出発	
夜のレクリエーション	キャンプファイヤー		
就寝	就寝		

## 【プログラムの成果】

低学年はストーリーキャンプで進行。やるべきことがリストアップされているので「自分のことは自分でやる」という主体的・積極的な意識が根付いた。高学年はよりハイレベルなキャンプを目指し、生活面では野外炊事にひと手間加えた。難しいことにみんなでチャレンジすることでキャンプの一体感を生んだ。台風の影響で出発が遅れたが、それを感じさせない楽しいキャンプとなった。

## 【同行リーダー(キャンプネーム)】

よりより、おっきー、うっでい、えっぴ、れいちえる、わさ、あっくん、ぼっしー、まいの、なかちゃん、ぶいぶい

## 【キャンプの様子】



河童キャンプは「手作り」がキーワード。高学年は自分たちの寝床を設営！



広い自然の中だから、遊びが盛りだくさん！自由時間も絆を深める大切な時間…。



食事もちろん自分たちで「手作り」みんなで作った料理は最高に美味しい！





台風の影響すら感じさせない総勢53名の河童キャンプメンバー。楽しい思い出をありがとう！



川の水はとともきれい！流れの強さを自分自身の体で感じることで、安全管理にも繋がります。



高学年の川遊びはもっと深いところへ。飛び込みはやっぱり最高！



低・高一緒にやるキャンプファイヤー。また違った一体感を生みます。

## 【キャンプリーダーより、子どもたちのエピソード】

### ☆かっぱからの指令！？

台風の影響を受けながらもキャンプ場に着くと、低学年さんにかっぱからの指令が届いていた！「え、なにそれ！」「え～うそだ！」と口々にいう子どもたち。初めは信じていなかった子も、「ぼく、さっきみた！あそこの木の陰！」「僕さっきかっぱのおうちみつけた！」というのを聞いて、「どれ？どこどこ！」「本当にいるんだ！」とかっぱに夢中！三日間を通してかっぱからの指令をクリアしていくうちに、1人でできることが増えたね！来年はかっぱに会えたらいいな～～。(まいの)

### ☆高学年の鏡！

キャンプ場は子供達の興味をそそることが盛り沢山！なので当然子供達は暇になるとバラバラ状態……。でも最終日に近づくにつれて子供達は、なんと今度はリーダーのお手伝いに目覚めてくれました。ひまそうな子供達に仕事を頼むとなんでも嫌がらずに手伝ってくれて、「高学年さんは遊ぶだけじゃなくて仕事も手伝ってくれるんだ！」ととても感動しました。高学年は住む場所や食べる物を全部自分たちで作らなければいけません。だからこそ、子供達の成長がたくさん見られて素敵なキャンプでした！（なかちゃん）

# 八ヶ岳登山キャンプ<2泊3日>

小学5年生～高校生

- 【開催日】 2017年8月12日(土)～14日(月)  
 【会場】 八ヶ岳 天狗岳  
 【参加人数】 7名  
 【ディレクター】 寺田達也(キャンプネーム:まめた) 藤田郁子(いくちゃん)  
 【プログラム】

1日目		【ねらい】
豊田駅集合	3:45 起床 4:15 出発	朝食
豊田→小淵沢→小海	中山展望台	カヌー体験
小海→バス→白駒	東天狗岳山頂	麦草峠より下山
白駒荘着	黒百合ヒュッテ(昼食)	
周辺散歩	にゆう→白駒荘	
夕食とミーティング	夕食	
	自由時間	

未知なものへのチャレンジを通して、自分の力を見つめなおす

大自然の中に身を置き、子どもたちの心を開放し、新しい世界を知るキッカケづくりとする

## 【プログラムの成果】

子どものペースに合わせたコースタイム設計をしているものの、このコース初めて 12 時間強の歩行時間となりました。10 秒に 1 回「休みたい…」と弱音を吐くときもありつつ、最後まで踏ん張って自分の足で歩き切った。疲れ切った表情と、翌日の「やりきった」表情がこのキャンプの価値を表現していた。

## 【同行リーダー(キャンプネーム)】

みっきー

## 【キャンプの様子】



鈍行列車の中からすでに元気な子どもたち。これからの山行に備えます。

アップダウンがあったり、岩場などの険しい道を助け合いながら登ります。

山小屋でのキャンプも一つの思い出。昼寝にトランプ等々思い思いに…



天狗岳 全員登頂！！このチャレンジで一回りも二回りも成長した子どもたちでした！



ヘッドランプを点けて暗いうちからスタート。時々晴れ間も見えてきました！



みんなで囲んで食べる“山メシ”はすごくおいしい！！



山なのにカヌーができちゃう！？このコースならではの魅力！

## 【キャンプリーダーより、子どもたちのエピソード】

### ☆これは妹へのお土産…！？

登山キャンプではおこづかい2,000円の使い方は子どもたちに委ねられています。コース中、どこで何を買ってもいいのです。ある子が手にするのは三ツ矢サイダー。「これは妹へのお土産」と大事そうにカバンの横に置いていました。

翌日の登山、12時間の歩行で体力も精神力もギリギリのところできたらゴール。最後の力を振り絞って部屋に戻ったとたん、プシュ！という音とともに三ツ矢サイダーをゴクゴクと飲む少年。そう、あの三ツ矢サイダー。

「これ飲んでないと、やってられないよ！」という主張。目的はさておき、それくらい頑張ったんだな！！とサイダーをゴクゴク飲む背中が、なんだか愛おしく感じました。(まめた)

### ☆よく歩き、よく食べ、よく遊んだ3日間！

朝暗いうちに歩き出し、八ヶ岳の頂を目指す登山キャンプ。年齢も参加の動機もそれぞれ個性豊かな7名でしたが、今回はいろいろあって最長行動時間記録を更新。それでも最後の最後まで自分の足で歩ききった、あの達成感、おそらくみんなが「人生初！」だったのでは。

でもいま考えると、思い出すのは食べている顔ばかりのような…電車の乗り継ぎ中にダッシュで買いに行ったソフトクリームとか、1本のジュースを賭けての「超真剣あっちむいてホイ勝負」とか、山頂でのとっておきおやつとかお昼ごはんのピタパンサンドとか。そして、12時間超も山を歩いたのに(あるいたからこそ?)、すっかり仲良くなって深夜まで全員で UNO 勝負を続けるみんなに脱帽でした(いくちゃん)

# 島☆冒険キャンプ<4泊5日>

年長児～大人

- 【開催日】 2017年8月16日(水)～20日(日)  
 【会場】 東京都伊豆諸島 式根島  
 【参加人数】 21名  
 【ディレクター】 島崎成利(キャンプネーム:シマックス) 寺田達也(キャンプネーム:まめた)  
 【プログラム】

1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	【ねらい】
夜に集合出発	式根島着	朝食	朝食	朝食	式根島の大自然に触れて新しい世界観を広げる  仲間と協力した生活を通して、自立心を育む 安全を意識した行動ができるようになる
竹芝より乗船	宿で休憩	泊海水浴場	中の浦海水浴場	乗船・出航	
船中泊	石白川海水浴場	昼食	昼食	竹芝→豊田	
	海水温泉	泊海水浴場	中の浦海水浴場	解散	
	夕食	夕食	大浦海岸でBBQ		
	レクタイム	星空散歩			

## 【プログラムの成果】

親元を離れ、長い時間遠い場所で過ごす体験。想像もつかないほどの青い海。式根島にはたくさんの「初めて」があり、それぞれまた世界観を広げる機会になりました。帰りの船で東京湾の色をみた子どもたちから「汚い…」の声が聞こえ、大切なものから環境を考えるキッカケになることを願っています。

## 【同行リーダー(キャンプネーム)】

よりより・おっきー・はしもん・まいの・なおずみ(サブリーダー)

## 【キャンプの様子】



当キャンプは夜行の船移動も魅力の一つ。到着後も移動の疲れは皆無の様子…(笑)



磯遊びや島内の探索で親交を深めます。普段は見ることができない景色に圧倒。



民宿での生活も一つの思い出。いろんな話をしたり、レクリエーションをしたり…





島、海、景色、、、いろんなものを濃縮した5日間。この夏一番の思い出をありがとう！



なんと言ってもシュノーケリング！最初は怖かった子も、慣れたらスイスイ遠くまで…



みんなで思い出を語りながら沈む夕日を眺める一枚…。



朝早く起きるとなんとそこには島に架かる大きな虹が出ていました

## 【キャンプリーダーより、子どもたちのエピソード】

### ☆ぼく(わたし)の「人生初」は式根島で！

この5日間の中で子ども達の中から「初めてだ」という声がたくさん聞くことができました。船に乗ること、島に行くこと、海で泳ぐこと、さらにはバーベキューやカップヌードルを食べることも初めての子もいました。さらには、毎年来てくれる人でも、今年は毎日が晴天だったということもあり、「初めて最初から最後までいい天気だった」との声もありました。人生初の出来事がこの式根島でできることは本当に嬉しそうでした。(よりより)

### ☆5日間の絆

式根島までは東京から約7時間かけて船で向かいます。息の船は夜行便だからあっという間。しかし、帰りの船は朝に出発する便。約7時間のみんなでお過ごせる最後の時間です。その船の中、ある班の男の子達の姿がみえないなあ・・・と思ったら・・・客室にある二段ベッドの一室に4人ぎゅうぎゅう詰めになってトランプをしていました(笑)様々なゲームを6年生の子が中心となって教えてくれます。5日間を通して絆を深めた子どもたちの姿を見ることができました。(おっきー)

# 満天の星キャンプ②エントリー<2泊3日>

小学生

- 【開催日】 2017年8月16日(水)～18日(金)  
 【会場】 山梨県立八ヶ岳少年自然の家(山梨県北杜市清里高原)  
 【参加人数】 39名  
 【ディレクター】 渡邊和英(キャンプネーム:かずきち)  
 【アシスタントディレクター】 若泉将貴(キャンプネーム:わか)  
 【プログラム】

1日目	2日目	3日目
7:30 集合出発	7:30 朝食	7:30 朝食
入所の集い・昼食	原っぱ遊び	原っぱ遊び
13:00 冒険ハイク	昼食・キャンプ場へ移動	11:00 プラネタリウム
16:30 入浴	15:00 野外炊事	12:00 昼食
18:00 夕食	17:00 夕食	現地出発
19:00 夜のレクリエーション	19:00 キャンプファイヤー	
就寝	入浴・就寝	

## 【ねらい】

- グループワークを通じて、「みんなで遊ぶ楽しさ」を感じる。
- 荷物整理を中心に、「自分のことは自分でやる」に挑戦する。
- 広大な敷地をめいっぱい使って思いっきり体を動かす。

## 【プログラムの成果】

ストーリーキャンプで進行。3日間悪天候であったが、班で協力しながら取り組めるプログラム運営であったため、活動を楽しんで乗り切ることができた。最後には「雨でもできることはたくさんある」というような、悪天候のキャンプに肯定的な感想も聞くことができた。

## 【同行リーダー(キャンプネーム)】

みなきち、ソーダ、まさくん、くれ、ハウス、はりー、きき、しらたま、ぶいぶい、めいちゃん、みほっぶ、ぼっしー

## 【キャンプの様子】



バスからとても元気な子どもたち！  
まずは自己紹介と係りを決めから！

ずっと雨続きの中、二日目に晴れ間が！  
やっぱり原っぱ遊びは楽しいね！

野外炊事もグループワークの一つ。  
班それぞれの味が完成します！

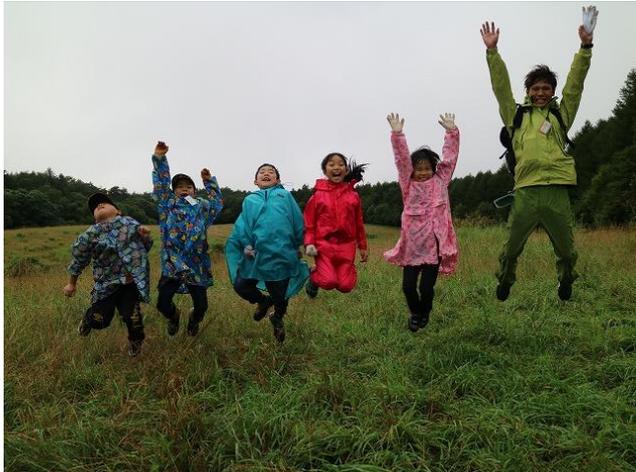




3日間の悪天候に負けないうらい元気な満天のメンバー。この夏一番の思い出ができました！



冒険ハイク、レクリエーションなど、様々なグループワークを得て班の絆を深めます！



恒例のみんなでジャンプ！このバラバラ感がいいんだ…。(笑)



キャンプファイヤーの点火は6年生に。いい思い出になったかな？

## 【キャンプリーダーより、子どもたちのエピソード】

### ☆キャンプが始まると思ったら…

NASA！ではなく…  
「NUSA」の未確認生物研究所研究長から協力依頼書が届いた。それは未確認生物「チェブラ」を一緒に探してほしいというものだった。目を丸くし「なんだろう！」と興味津々の低学年。「チェブラを見つける！」と意気込む中学年。「そんなのいないよ」と高学年。けれど、どの班もみんなで協力をしてチェブラの特徴を集めていく。それぞれ思い描くチェブラの姿は異なっているけど、そこには子どもたちが目的に向かって協力をし、一つになっていく姿があった。(ぱっしー)

### ☆雨、、、？降ってたっけ～？

1日目。雨の中、冒険ハイクに出発しました。森の中を歩いて、合羽はドロドロ、軍手も靴もグッチョグチョ。「早く着替えたい！」と子どもたちから、リーダーに注文が入る。しかし、楽しそうなアスレチックを目の前にすると、子どもたちは一目散に走り出す。ドロドロなものグッチョグチョなもの、ビチョビチョなものも忘れて、思いっきり遊び、笑い合い、励まし合う。あれ？もう濡れてることなんて忘れてる？って思う程、子どもたちはイキイキとしていました。(みほっふ)

# 1泊キャンプ①<1泊2日>

年長児～小学4年生

- 【開催日】 2017年8月20日(日)～21日(月)  
 【会場】 タヤけ小やけふれあいの里 (東京都八王子市)  
 【参加人数】 20名  
 【ディレクター】 阿部和広(キャンプネーム:あべべ)  
 【アシスタントディレクター】 若泉将貴(キャンプネーム:わか)  
 【プログラム】

1日目	2日目
9:30 集合出発	7:30 起床・朝食
豊田～高尾～夕焼小焼	水遊び・川遊び
昼食・場内探検	昼食
水遊び・川遊び	荷物整理
野外炊事・夕食	夕焼小焼～高尾～豊田
キャンプファイヤー	解散
就寝	

【ねらい】
○初めてのキャンプ活動を通して、野外での活動を楽しむ前向きな心を育てる。
○親元を離れて「自分のことを自分でやる」体験をする。

## 【プログラムの成果】

様々なプログラムが凝縮した2日間。自然の中で新しい仲間と出会い、挑戦したり、協力したりしながら過ごしたことで自信がついたようだった。このキャンプで出会った仲間は初対面が多かったが、解散時には「離れたくないね！」と別れを惜しむ声が聞かれた。

## 【同行リーダー(キャンプネーム)】

みなきち、りんりん、たむ、じょに一、きむにい、きっぴ、ソーダ

## 【キャンプの様子】



集合時、大人しかった子どもたちも、到着すると元気いっぱい！ワクワクです♪



たった1泊だけど、たっぷり詰まったプログラム。一つ一つの活動が楽しい！



初めてのお料理。包丁、ピーラー、缶切り等々。みんなで協力して作ります！





思い出たっぷり詰まった2日間。この夏一番の思い出になりました！また会おうね！



一番の楽しみ、川遊び！冷たいけど、楽しいからずっと遊んでいられる！



2日間快晴だったので、二日間とも川遊びを楽しみました！



楽しいプログラムは夜まで…。キャンプファイヤーも楽しい！！

## 【キャンプリーダーより、子どもたちのエピソード】

### ☆初めての野外炊事

一泊キャンプはまだキャンプにいったことのない子やお泊まりが心配な子がたくさんいるコースです。そんな子どもたちが川遊び、野外炊事、キャンプファイヤーなどキャンプの楽しいことをおもいっきりやる二日間になります！

ソーダが思い出に残ってることは、野外炊事です！みんなはじめてとは思えないほど上手に、そして仲良くカレー作りをしていました。そんな素敵な笑顔がたくさん見れるキャンプでした。(ソーダ)

### ☆冷たくても…

キャンプに来る子どもたちの楽しみの1つが川遊びでした。その日は陽ざしもあり比較的天気も良く、まさに水遊び日和。期待に胸躍らせ、いざ川へ…。入った瞬間、想像以上の冷たさに「キャー！！」「冷たい！」と悲鳴が…。

それでも深いところまで入って水をかけ合う男の子、寒そうに身をすくめながらも川から上がらない子など様々な姿。川遊びを終えた後も体を震わせながら「また川遊びしたい！」と、どこまでも元気な子どもたちに出会えました。(りんりん)

# 1泊キャンプ②<1泊2日>

年長児～小学4年生

- 【開催日】 2017年8月22日(火)～23日(水)  
 【会場】 夕やけ小やけふれあいの里 (東京都八王子市)  
 【参加人数】 20名  
 【ディレクター】 寺田達也(キャンプネーム:まめた)  
 【アシスタントディレクター】 若泉将貴(キャンプネーム:わか)  
 【プログラム】

1日目	2日目
9:30 集合出発	7:30 起床・朝食
豊田～高尾～夕焼小焼	水遊び・川遊び
昼食・場内探検	昼食
水遊び・川遊び	荷物整理
野外炊事・夕食	夕焼小焼～高尾～豊田
キャンプファイヤー	解散
就寝	

## 【ねらい】

- 初めてのキャンプ活動を通して、野外での活動を楽しむ前向きな心を育てる。
- 親元を離れて「自分のことを自分でやる」体験をする。

## 【プログラムの成果】

キャンプ初体験の参加者が多いこのコースでは、野外炊事、川遊び、キャンプファイヤー、テント泊等々1泊2日に様々なプログラムが凝縮されている。できなかったことができるようになる喜びと自然の中で仲間と過ごす楽しさを体で感じている様子だった。

## 【同行リーダー(キャンプネーム)】

ゼロ、ナッツ、おっきー、ハウス、ぶいぶい、ひまり、えっぴ

## 【キャンプの様子】



炎天下の中、初日から水遊び・川遊び。レクリエーションで班の仲を深めます。



野外炊事では、使ったことのない包丁やピラーで慎重に。皆で食べればおいしい！



広々したキャンプ場では、場内ハイクにボール遊び、鬼ごっこ等々遊びが盛沢山！





川遊びに野外炊事、キャンプファイヤーにテント泊。たくさん詰まった1泊2日は最高の思い出になりました



流れている川は思った以上に冷たい。でも好きな事には没頭できる…。さすがです…



班対抗のレクリエーションで一致団結！リーダーも子どももいい顔



初めてのキャンプファイヤー。初めて間近で見る炎に圧倒…。

## 【キャンプリーダーより、子どもたちのエピソード】

### ☆自然とみんなが一つに…

一泊キャンプは「キャンプ・お泊まりは初！」という子ども達が多く参加。

キャンプファイヤー後から大流行し、キャンプ場バスの発車直前まで楽しんだ「円盤体操」。川遊び前に行った、デコボコ道の中、班リーダーのもとへ一生懸命駆け寄っていた姿。様々なタイミングで展開される「本部's 劇」。自然に始まった全員合唱。全て笑顔と瞳がキラキラに輝いていた初めての盛りだくさんのキャンプだった。(ゼロ)

### ☆野外炊事

カレー作りでは、たくさんのニンジン・じゃがいもたちと格闘！班の中で誰が切るか、何を切りたいか、相談する中で自然と会話が生まれて「班の団結」を見ることができました。一刻も早く切り終わって遊びに専念しようと燃える班、丁寧に小さく切って食べやすさを重視する班。どれもそれぞれの子どもたちの「想い」が詰まっていたなんだか微笑ましい！そして力を合わせて切った野菜をグツグツ煮込んでできたカレー、みんなの満点の笑顔がおいしさを物語っていました。(えっぴ)

# タフィーキャンプ<1泊2日>

4～5 歳児

- 【開催日】 2017年8月23日(水)～24日(木)  
 【会場】 タやけ小やけふれあいの里 (東京都八王子市)  
 【参加人数】 18名  
 【ディレクター】 松橋奈保子(キャンプネーム:ナナコ)  
 【プログラム】

1日目	2日目	【ねらい】
9:30 集合出発	6:00 起床・朝散歩	○自然の中で、日常ではできない体験を多くする。 ○家族と離れて、友達と一緒に楽しく過ごす。 ○着替えや荷物整理など自分の身の回りのことを自分でやってみる。
豊田～高尾～夕焼小焼	朝食	
昼食・川遊び	おにぎり作り	
マスのつかみ取り	川遊び	
野外炊事・夕食	昼食・荷物整理	
キャンプファイヤー	夕焼小焼～高尾～豊田	
就寝	解散	

## 【プログラムの成果】

4・5歳児という幼児にとって、家族と離れて友達やリーダーと一緒に2日間を過ごす経験は、子どもたちの自身となり、自分の身の回りのことを自分でやろうとする気持ちが芽生えた事と思います。その成果が成長として感じられるまでには時間がかかることですが、満足そうな表情で「楽しかった」という言葉を子ども達から聞くと、しっかり成長の種を撒くことが出来たと感じています。

## 【同行リーダー(キャンプネーム)】

きっぴ、じよに一、かずきち、とんとん、まめこ

## 【キャンプの様子】



天気にもまれて川遊びができました  
マス掴み体験も楽しいプログラムです



捕まえたマスはハサミを使って捌きます。  
夕飯に美味しくいただきました。



広場で体を動かして遊ぶ時間も楽しい！  
スイカ割りも初体験の子が多かったです





「自分のことは自分で」をモットーに最後まで頑張りました！この夏一番の大冒険でした！



キャンプファイヤーには、忍者が遊びにきました。子ども達は大喜び！  
自分の荷物は自分で運びます↓↓↓



夕飯に、長〜い海苔巻きをみんなで力を合わせて作りました



一泊すると、友達同士の距離も近くなります。仲良し仲間

## 【キャンプリーダーより、子どもたちのエピソード】

### ☆自分のことは自分で

タフィーキャンプは参加者の子ども達にとって初めてのことで、色々なことがチャレンジです。2日目の朝、テントの中で帰る準備で荷物を詰めている時、他の子どもたちよりも遅れている子がいました。みんなは先に終わらせて外へ出て、もうテントの中は自分とその子だけ。それでも、その子は一生懸命がんばってやりきりました。「自分でできた！」というあの時の喜びの笑顔は、今でも忘れられません。(じよに一)

### ☆初めてのお泊り

年中さん、年長さんを対象にしたタフィーキャンプ！！ほとんどの子どもたちがキャン初めてで、お父さん、お母さんから離れて1日を過ごすことも初めて！出会った時は、とても緊張しているけど、少しずつ友達を増やし、みんなと協力して、過ごします！夜寝るときに、子どもたちから「そばにいてね」と言われて、小さな手でぎゅっと握られた時、子どもたちが頑張っていることを感じました！子どもたちが、「魚つかめたよ！」ってきらきらした笑顔で見せてくれたこと、とっても素敵でした！（きっぴ）

# 1泊キャンプ③<1泊2日>

年長児～小学4年生

- 【開催日】 2017年8月24日(木)～25日(金)  
 【会場】 タヤけ小やけふれあいの里 (東京都八王子市)  
 【参加人数】 20名  
 【ディレクター】 寺田達也(キャンプネーム:まめた) 小澤まどか(キャンプネーム:おざ)  
 【プログラム】

1日目	2日目	【ねらい】
9:30 集合出発	7:30 起床・朝食	○初めてのキャンプ活動を通して、野外での活動を楽しむ前向きな心を育てる。  ○親元を離れて「自分のことを自分でやる」体験をする。
豊田～高尾～夕焼小焼	水遊び・川遊び	
昼食・場内探検	昼食	
水遊び・川遊び	荷物整理	
野外炊事・夕食	夕焼小焼～高尾～豊田	
キャンプファイヤー	解散	
就寝		

## 【プログラムの成果】

とにかく「はじめて」尽くしなのが1泊キャンプ。次から次へと出てくるプログラムはみんな新鮮な体験となりました。「自然の中で遊ぶことはこんなにも楽しいんだ！」子どもたちからは、いつまでも遊べるぜ！という気迫を感じるほどで、そこにはカードゲームもテレビゲームも必要なさそうな空間でした。

「子どものあそび」はひよっとすると、子ども自身の問題より、それを取り巻く環境にあるのかな…そんなことを感じた1泊2日でした。

## 【同行リーダー(キャンプネーム)】

まいの、りんりん、あつくん、むーさん、きき、くるみ、かのん、になゆ

## 【キャンプの様子】



一泊キャンプの子どもたちは、バス、電車、徒歩など移動も含めて大冒険！

到着後もこれから何が始まるか、ウキウキワクワクの様子。まずはみんなで昼食！

見たこともない生物に遭遇！？普段見かけない生き物に興味津々です。。。



夏の暑さに負けないうらいとも元気な子どもたちとリーダーたち！最後まで全力で遊びました



二日間たくさん歌うキャンプソング。感慨深いものがあります。



キャンプ場内には落書きコーナーが。結構人気な遊びの一つです



食べ終えた食器は、“エコな洗い方”を学んで実践します！

## 【キャンプリーダーより、子どもたちのエピソード】

### ☆川の水はツメタイヨ。。。

1泊キャンプの目玉のひとつ、それは川遊び。しかし1泊キャンプ③の時の川は、冷たすぎました。天気は悪くなかったけれど、気温が低かったのです。子どもたちの半分くらいは、川岸から水鉄砲でリーダーを狙っていました。

一方、もう半分の子もたちは、寒かろうが全力で川遊び。魚とりや泳ぐことに夢中になっていました。そんな子どもに混ざってリーダーは、ガクガクブルブル震えながらも楽しそうに遊んでいました。(きき)

### ☆遊び疲れて・・・

今回のキャンプでは男の子のお友達が5人というとても女の子の割合が高いキャンプでしたが、そんなことを感じさせないくらいみーんなすごく元気でした！

初めての川遊び、初めてのカレー作り、初めてのキャンプファイヤー。遊び疲れたのか「テントでなか寝られねーよ！」と言っていた子がいの一番に眠りに落ちたのが印象的です。笑  
また来年も来るねと言ってくれた事を信じて来年も待ってます！（あつくん）

## 1day outdoor シャワークライミング③<日帰り> 小学4年～6年

- 【開催日】 2017年8月29日(火)  
 【会場】 裏高尾の沢「TAKAO シャワー」  
 【参加人数】 11名  
 【ディレクター】 寺田達也(キャンプネーム:まめた)  
 【プログラム】

1 日目	【ねらい】
9:30 集合	○自然の中の水遊びを通して外遊びの楽しさを感じる。 ○仲間と協力して水流に立ち向かい、仲間と力を合わせる良さを感じる。 ○不安定な沢筋の歩行で安全意識を高める。
豊田～高尾	
シャワークライミング	
昼食	
沢遊び	
高尾～豊田	
解散	

### 【プログラムの成果】

渇水が続いた今夏で、前日の降雨により水量は絶好調に回復。ダイナミックさを増した沢は子どもたちへ挑戦を演出してくれました。滝の水流は子どもたちの胸ほどへ迫り、押し戻される水の力を感じました。この「流される」ちょっとした恐怖感が、水に対する安全意識を育み、「突破した！」達成感が自信を生み出すのだと感じたコースになりました

### 【同行リーダー(キャンプネーム)】

えるも、ぶいぶい、きき

### 【キャンプの様子】



まずはセーフティーク。川のせせらぎを聞きながら、川について学びます。



遡上する中で、自然にできた障害物が所々にあります。これもまた学び。



水深は子どもたちの腰から上、深い所では胸まであるところもあります！





常に smile を忘れずにシャワクラにチャレンジした一行。最後の一枚もいい笑顔です！



前日の雨のため、よりパワーアップしたウォーター  
スライダーで川遊びを楽しみます！



休憩の合間の一枚。冷たい川にも関わらず、とても元気です…



遡上し終えた後も川遊び…。川だった永遠と遊んでいられるようです笑

## 【キャンプリーダーより、子どもたちのエピソード】

### ☆夢中になりすぎて…

この日は、とても天気良く絶好のシャワークライミング日和。川の水は冷たかったけれど、それが心地いいくらいでした。ききとぶいぶいのグループは、カニを集めたり、深いところにドボンと飛び込んだり……。川でしかできない遊びに夢中になっていました。するといつの間にか、前のグループと離れてしまいました。するとまめたが心配して見に来ました。しかし楽しそうにしている子どもたちを見て安心していました。その後、ききとぶいぶいは、怒られたとか、怒られなかったとか。(きき)

### ☆沢ガニの悲劇

川の中を歩いている時に子ども達がハマったのは、なんと沢ガニ取り。数えきれないほどのカニをゲットした子どもたち。

さあこれから天然スライダーをしようという時「ねえ、預かっておいて」と次から次へと私のポケットにカニを押し込む子どもたち。私もスライダーやるんですけど…カニの無事を祈りつつ、ハラハラしながら子どもたちとスライダーを楽しみました。

その後、このカニ達は怎么样了。カニ達は無事でした。子ども達が石を使って立派な家を作り、そこに放してやりました。

私もカニもほっとしました…(ぶいぶい)

# 1day outdoor カヌー体験③<日帰り>

小学生

- 【開催日】 2017年8月30日(水)  
 【会場】 みの石滝キャンプ場(神奈川県相模原市)  
 【参加人数】 30名  
 【ディレクター】 (キャンプネーム:)  
 【プログラム】

1日目	【ねらい】
9:30 集合	○水の上を自由に動けるカヌーの技術に挑戦し、新しい「できる」体験を積む。 ○安全意識をもちながら活動に臨み、野外における安全を感じることができるようにする。
豊田～相模湖	
相模湖カヌー体験	
昼食	
沢遊び・火遊び	
相模湖～豊田	
解散	

## 【プログラムの成果】

日帰りカヌーの3コース目、実は今年は3コースすべてに参加する子がいました。同じところで、同じことを3回繰り返す…。行きに「あきないの?」と聞くと「ん～ちょっと飽きたかなあ～」という返事をするものの、帰りには「今回も最高!」という感想が。自然の魅力には脱帽です。

## 【同行リーダー(キャンプネーム)】

うっちょ、いなり、ぶいぶい、きき、ハウス、おっきー、ひまり、かのん

## 【キャンプの様子】



カヌー初めての子どもも多いので、乗り方漕ぎ方の説明にみんな興味津々です。



オールを持っていざ出陣!!  
漕ぎ始めの顔はみんな強ばっている…。



子どもたちは習得が早い!! 少しずつコツをつかみ、縦横無尽に漕げるように。。。





夏休み最後までみっちり遊びまわりました。疲れ切った顔がなんとも good!!



慣れてきたら、友達と競争、水の掛け合いなどなど、思い思いに湖上を漕ぎまわります!



水遊び後の水遊び…(笑) 懲りないリーダー&子どもたち!



一通り遊び終えてハイチーズ! ここに来て少し疲れている子も…。

## 【キャンプリーダーより、子どもたちのエピソード】

### ☆初めてのカヌー

最初はドキドキしながらカヌーに乗っている子供たち。すぐに自分行きたいところに行けるようになっていきます。そして、水かけ競争の始まり。子ども同士で作戦を決めてリーダーのところへ行ったり、リーダーと協力して他のリーダーのところへ行ったり、白熱し過ぎてボートから落ちてしまう子どもやリーダーもいました。そんな時は大きな声で「えいじさーん」と助けを呼びます。そんな子供たちの声がとても可愛かったです。(いなり)

### ☆沢ガニまつり!!

このコースではカヌーだけでなく、キャンプ場にある川で川遊びもできます。川遊びでは、沢ガニの大漁!!! 子どもたちは沢ガニが石の裏にいることをよく知っています。沢カニを捕まえては紙コップに入れていきます。ある子が「カニパラダイスをつくろう!!!」と言い出し、石で水をせき止めて池を作り、沢ガニをみんなが集めます。「カニを捕まえる練習もできるよ!!!」みんなで楽しく遊べた屋下がり午後でした。(おつきー)

# てっぼう・とびばこ教室 夏 <5日間> 小学1年～4年

【開催日】 A:2017年7月27日(木)～8月1日(月) B:8月27日(日)～31日(木)

【会場】 日野社会教育センター3F 体育室

【参加人数】 A:24名 B:24名

【ディレクター】 渡邊和英(リーダーネーム:かずきち)

## 【プログラム】

1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
15:00 集合・あいさつ				
15:10 体づくり運動				
16:15 鉄棒とび箱練習	16:10 鉄棒とび箱練習	16:05 鉄棒とび箱練習	16:00 鉄棒とび箱練習	16:00 鉄棒とび箱発表
17:00 終了				

## 【ねらい】

運動が苦手・嫌いな子が少しでも楽しんで好きになってくれるように鉄棒とび箱に取り組む。

## 【プログラムの成果】

5日間連続で通う、鉄棒跳び箱教室。最初は「どうせ私なんて。。。」と言っていた子が3日目には一つ、また一つと出来るものが増えてきて、ニガテなものにもチャレンジしている姿があった。なんと家でも練習してきた！とも教えてくれるほど。運動に興味を持ってくれたこと、成功した時の喜びを分かち合えたこと、大きなチャレンジをした楽しい5日間でした。

## 【体操リーダー(リーダーネーム)】

えっぴ、れい、れいちえる、まっさ、ぼっしー、まいの、なかちゃん、けんぴ、ゼロ

## 【教室の様子】



指の動きから準備運動



逆さになる感覚をつかむ練習



笑えることも大切な運動の一つ



ときには真剣に向き合う



大きく笑って！



外にあるものを見つけてみて！



おもいきりとんでみよう！



I can FLY!!

こんなに高く跳び超えます！



みんなで集まって、ハイ・ポーズ！！



難しい技に挑戦！

### 【フォトギャラリー】



ひの自然学校 サマーキャンプ 2017  
参加者・保護者 アンケート(抜粋)

【カヌー体験】

- 前回、冬のスキーキャンプに参加させていただき、リーダーの皆さんとの関わりがとても楽しかったようで、今回も申し込ませていただきました。友人と班が別々だったことで、朝の集合時には若干テンションが低めでしたが、帰ってきたときには満面の笑みでした。きっと、リーダーさんが盛り上げてくださったのだと思います。もともと友人とは一緒ではなく、キャンプで新しい友人たちと仲良くなれるのはとてもいい経験になると思います。
- 帰ってきて、夏休みにもう一回カヌーに行きたい！と言われ、泣かれてしまいました。よほど楽しかったようです。リーダーにまた会いたい！と泣いており、心に響いた活動をしてきたのだと喜んでおります。
- 行く前まで不安そうな様子でしたが、スタッフの方がやさしく楽しく接してくれたようで、とても楽しかった！と帰ってきました。親の方が雨でどうなることか…と心配していましたが、雨の中でも楽しめるんだと、参加させて良かったと思いました。
- カヌーに行く前はひっくり返らないか、湖も深いので家族で心配していましたが、すごく楽しかった！と帰ってきたので安心しました。結局、ひっくり返ったそうですがスタッフの方がすぐに助けに来てくれたので、ひっくり返ったのも楽しかったようです。
- 「一日、全部が最高に楽しかった！」と帰ってきました。お土産話も止まらず、虫を捕まえた話や一人でうまくカヌーを漕げたことなど、とても楽しかったようです。



【シャワークライミング】

- リーダーさんたちがみなさん明るく元気で、しっかりしていて娘もそんな姿に成長してもらえたらいいなと思っています。「また参加したい！」と言っていたので来年もよろしくお祈りします！
- あまり話をしてくれない子ですが、「滑り台が楽しかった！」と自分から話してくれました。次回は泊りに挑戦させたいと思っています。

【満天の星キャンプ①アドバンス】

- 頼もしいリーダーさんたちのおかげで、充実した3日間を無事に過ごせたこと感謝しています。初めての一人でのお泊りが楽しいものとなり、子どもの自信になったと思います。みんなで歌った‘ほほえむそんぐ’を家でも歌って聞かせてくれました。
- キャンプファイヤーで雨が降ってしまったけど、屋根を作ってくれたこと、ターザンロープを作ってくれたことなどリーダーたちがやってくれた「すごいこと」を沢山教えてくれました。
- 帰ってきた子どものキラキラと輝く目、リーダーさんたちの疲れ切った顔が印象的でした！リーダーさんたちが必死に子どもたちと向き合い、そのおかげで子どもたちはとても充実した楽しい日々を過ごせた何よりの証拠だと思いました。皆さんの思いが伝わり私まで泣きそうになってしまいました。
- 昨年も同じキャンプに参加しました。緊張からか、眠れなかつたり食欲がなかつたりとの話を聞き、今年はどうかな…と心配していたのですが、今年はいよほど眠れたようです。リーダーさんのお手伝いがとても楽しかったようで、今年も行く前からお手伝いをたくさんすると言って出発して行きました。親としては、もう少し友達と関わってほしいと思っていたのですが、本人はリーダーさんたちに「助かったよ」「ありがとう」と言ってもらえることが嬉しいようでした。



【満天の星キャンプ②エントリー】

- 出発前、億劫がっていましたが、帰ってきたときは「やはり行ってよかった」と言っていました。6年間キャンプに参加させてもらうことで、息子もだいぶ成長したと思います。リーダーや友達との生活から、家族旅行では学べない何かを会得してくれています。思春期に片足入った息子は、自宅では決して「良い子」ではないけれど、お友達の家泊まりに行くと、先方からは「自分の身の回りのことを進んでできる。自立している。」とほめてもらえる子に育っています。



- 6年間、満天の星キャンプに参加させていただきましたが、今年が一番楽しかったと今でも興奮しながら話してくれます。皆で作ったカレーが美味しかったこと、アスレチックでゴールした達成感、カレー作りの時から夕飯までずっとダジャレを言い合って爆笑したこと、全てが楽しい思い出になったようです。中学生になったら参加できないこと残念がっています。
- 出発前からとても楽しみにしていました。あいにくの雨でしたが120%楽しんできたようで、帰ってきてからキャンプでの出来事をたくさん話してくれました。「雨だからできることがいっぱいあるんだよ!」と嬉しそうにはなしてくれて、本当にいろいろな経験ができたんだなぁと思いました。

#### 【河童っばキャンプ】

- 普段洗い物なぞしてくれないのですが、率先してエコな洗い方でお手伝いしてくれました。家庭では教えられないことをいろいろ学ぶことができたようで、良い経験になったようです。
- 帰ってきてからの第一声が「楽しかった。今まで食べたことのないバエリア、タンドリーチキンは家で作れる? ハンモックもよかった。」と満足していました。「ママは〇〇は知ってる? したことある?」と質問されることが多々増えています。たくさんリーダーに甘えたんだと思います。
- リーダーのことが大好きな様子で、名前がよく出てきました。川遊びも一つの冒険だったようで「一人でできた!」と大喜びしていました。友達と一緒に寝袋で寝たことも本当に良い経験ができました。牛乳パックを使ってホットドックを作ったこと、みんなで食べておいしかったこと、今年の夏休みはいろいろ体験できて、良い思い出と大きな成長があったと思います。
- 全身・全力で子どもたちと関わり、最高の遊び(非日常の体験)をアイディアを絞って、子どもたちに提供させていただけることを毎回キャンプに参加させていただく度に感心させられています。たくさんの子どもの体験は大人になっても必ず役に立つと思っています。
- 火おこしで自分が点火することができたらしく、自信がついたようです。他のキャンプでも感じたのですが、大人に自分を認めもらえることで自分に自信を持つことができ、自分の良さを知るきっかけになるようです。



#### 【島☆冒険キャンプ】

- 迎えに行ったら「もっと島にいたかった」と言っていました。車の中でも、帰ってからも島の出来事をずっとしゃべっていて本当に楽しかったのだとわかりました。仲の良い友達もできて、そしていつもリーダーさんたちのおもしろ話を話してくれます。
- 「すごい楽しかった。大満足。やってみたかったこと(足の届かないところで泳ぐ、シュノーケリング、魚と一緒に泳ぐ、飛び込み)ができた! リーダーが何でもいいよって任せてくれたのが嬉しかった!」小さな弟妹と共にだとなかなかできない背伸びの冒険をめいっぱい楽しめたようです。



- 同じところへ行ったとしても毎回違う思い出を持ち帰ってきます。子どもから話を聞くのが楽しみで昨年も今年も帰宅してからずっとしゃべりっぱなしでした。話してくれたことの何十倍も、きっと楽しいことがあったんだなと思います。

#### 【1泊キャンプ】

- 冷たい水が苦手なのに、一番楽しかったのは「川遊び」と言っていました。キャンプファイヤーも思い出になったようですし、初めてのテント、料理、寝袋…とやったことがないものにチャレンジしたということを、目をキラキラさせて教えてくれました。行かせて本当に良かったです。
- 行く前は、ちょっぴり不安な様子でしたがとても楽しかったようです。リーダーさんたちと楽しく過ごしたこと、夜ちょっぴり涙したことなど、言葉は少ないですが話してくれました。1日目の朝、スキーキャンプでお世話になったリーダーさんが集合場所で、笑顔で迎えてくれたこと、夜寂しい時に寄り添ってくれたこと、親としては本当にありがたく感謝の気持ちでいっぱいです。この素晴らしさに気付くのは、子どもがいつか大人になった時だと思います。
- うちの子どもは人見知りがとても強く、初めて会った人とは、なかなか話せない性格なので、とても心配でしたが、本人は「すごく楽しかった! 来年も行きたい!」と笑顔で帰ってきたので、親としてもとても嬉しかったです。家族だけでは体験できないような貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。





- 初めて家族と離れることが不安だったようですが、戻ってきたときの表情を見て安心しました。家に帰ってからも、キャンプでの出来事を楽しそうに話してくれました。自信がついてようで、自分で考えて行動する姿が見られるようになり、参加して本当に良かったと思います。
- キャンプへ参加する前は親も子ども色々と心配していましたが、帰ってきてからは毎日のように、キャンプで歌った歌を口ずさんだり、リーダーの方々の話をしたり…本当に楽しかったようです。
- 自然の中で遊ぶ機会が少なくなった現代の子どもたちが自然と触れ合い、テレビや玩具に頼らない生活の中で何かを学べる、集団生活におけるルールなどを学べる良い機会です。1泊という短い期間でしたが、とても楽しかった、また参加したいと本人も言っていました。



- 帰宅すると、テンションが高く、眠りにつくのが遅かったです。カレーが大嫌いなのですが、「完食したよ！」と自信満々で言ってくれました。手作りのカレー、友達と食べるカレー、とってもおいしく感じた様子でした。
- リーダーがとても暖かく、親切で楽しく過ごすことができました。まず、自分で考えて行動するという点で少し成長したと思います。
- 最初は不安でとても緊張していましたが、帰ってくると「楽しかった！また行きたい！次は2泊のね！」と話してくれました。人見知りな性格のため「次は行きたくない」と言うのかなと思っていましたが、嬉しい驚きでした。
- 同じ学校の友達や知っている友達もいなかったため心配でしたが、班の友達と仲良くなり「楽しかった！また来年も行きたい！」と解散後すぐに言われたので安心しました。

#### 【タフィーキャンプ】

- お迎えの時は安心したのか泣いてしまいましたが、帰宅後は楽しかった話をたくさんしてくれました。パンフレットやリーダーさんのコメントを何度も読んで聞かせてくれました。チョコレートのおいぎりが美味しかったようです。
- 自然の中で思い切り遊ぶことが大好きな娘なので、少し臆病なところや場所見知り、人見知りも払い除け楽しんできた様子です。戻ってきたとき、私を見つくと少し誇らし気な顔でたくさんのことを本人なりにやり切ることが出来たんだろうなと思いました。
- 魚をどうやってさばいたのかを詳しく教えてくれました。親と離れて過ごす初めての泊りでしたが、緊張しながらも本人なりに楽しめたようです。1つ1つ頑張った経験が自信につながってくれると良いなと思っています。
- 行く前は不安そうでしたが、とても楽しかったようで、いっぱい話を聞かせてくれました。1泊じゃ足りないので、来年は2泊に行ける満天の星キャンプに行きたいそうです。(まだいけません…)



#### 【てつとび】

- 初日は「4段跳べるかな…」と弱気モードでしたが、最終日には跳べませんでした。5段にもチャレンジしていて表情も日に日に明るくなっていったように感じました。
- 楽しい感じで体を動かすことが出来て、5日間楽しすぎて「5日じゃ足りない！もっとやりたい！」と言っていました。鉄棒・跳び箱にも自信がついたようで「担任の先生にできたところを早く見てもらいたい！」と張り切っています。
- 初めての参加だったことと本人が人見知り激しく緊張しやすい性格なので、どうなるか不安だったのですが、初日こそ始まる前に泣いていましたが、始まるとすぐに嫌がることなく参加していたので一安心しました。大人数ではなく、少人数でのグループ分けが良かったようです。運動が苦手なのですが、自ら積極的に手を挙げてやっている姿には成長を感じ驚きました。毎日1つずつできることが増えていくので、自信につながったようで、家でもやって見せてくれました。たった5日間でここまで変われると思ってなかったのが、参加させて良かったです。「また行きたい」と言ってもらえて、「鉄棒、跳び箱が楽しい」と思ってもらえたことが嬉しいです。



- 5日間の見学で、子どもたちが全員キラキラした笑顔で取り組んでいたのが驚きでもあり印象的でした。子ども曰く、優しいお兄さんお姉さんたちで、とてもほっとできて谷しかったとのこと。少し思い切りが良くなったようで、水泳の方も1つ級が上がりました。
- 毎日とても楽しみに通っていました。帰ってきてからも今日やったこと、できるようになったことを笑顔でたくさん教えてくれました。そんな姿を見ることが出来て、通わせて本当に良かったと思っています。

## リーダー研修会（キャンプ研修）

日時：2016年6月17日（土）～18日（日）

会場：上野原市緑と太陽の丘キャンプ場（山梨県上野原市）

人数：42名

### 【目的】

- ①リーダー自身のスキースキルアップを図る
- ③リーダー同士の交流とキャンプ全体のイメージを具体化する。

「キャンプの楽しさを伝えるために、自分たちもキャンプに親しむ」ことにより、その価値をリーダー間で再認識し共有することができた



研修会では、レクリエーション指導・火おこしの方法と薪割り・野外炊事・キャンプファイヤーに・川の安全管理と、キャンプに関係するあらゆる分野の基本を確認しあう会になった。

やってみる分かること、感じることも多く、リーダー間で気を付けたいことや指導上のポイントなども情報交換する場面が多くみられた。



今年度は、安全教育としてセフティトークの方法や環境倫理にも話題が及び、実技をふんだんに取り入れた実践形式の研修会には参加者からも好評であった。



また、今回の講師は別の自然学校に所属する堀井洋邦氏をお招きして実施した。それぞれ団体が違うと考え方や方法、レクの種類なども異なり、この

違う部分が、自分たちの活動を見直すキッカケや新しい情報の交流として大変有意義なものになった。



